

いずみさの教育



問合先
学校教育課

スクールソーシャルワーカー（SSW）について

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果が、令和4年10月に文部科学省より発表されました。これによると、令和3年度全国の暴力行為の児童生徒1,000人当たりの発生件数（千人率）は60件（前年度5.1件）、また、いじめ認知件数の千人率も47.7件（前年度39.7件）、さらに、不登校の児童生徒の千人率も25.7人（前年度20.5人）で、全国的に増加傾向にあります。

このような今日の暴力行為、いじめ、不登校などの生徒指導上の諸課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉などの専門的な知識、技能を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけ、支援を行うのが福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）です。

決のために活用できる社会資源に関する情報提供を行っています。必要に応じて関係機関や手続きなどへ同行することも可能です。そのため、日常的に子どもたちの授業観察や行動観察を行ったたり、関係機関から相談活動において必要な情報の収集を行ったりもしています。

また、会議では課題の原因や背景を探り、社会福祉の観点に立ったケースのアセスメント（見立て）を行い、課題を整理することで問題解決に向けたプランニング（手立て）をサポートしています。さらに、教職員向けに校内研修などを行い、福祉の観点から教職員が子どもたちを理解するためのスキル向上にも関わっています。

本市ではSSWを委嘱し、市内各中学校区に1人ずつ配置しています。SSWへの相談は、各学校および学校教育課へ問い合わせてください。

学校園紹介



豊かな自然や文化遺産に囲まれて ～大木小学校～



大木小学校は、山々に囲まれた農村地区にあり、学校のすぐ近くを流れる川では、希少な小魚や昆虫の幼虫などが多く生息しています。また、大木地区内には中世以降に建立された神社や寺などの文化遺産も多くあります。このような自然や文化遺産が多くある環境で大木小学校は特徴のある行事を行っています。

【川探検】 児童たち自らが川で水生生物を捕まえ、観察しています。カワムツ、ヨシノボリといった小魚や、ホタル、カゲロウなどの昆虫の幼虫といった希少な生物を見つけることもあります。



【大木探検】 神社や寺で由来を聞いたり、野草や小動物を観察したりします。田んぼの側溝でアカハライモリを見つけることもできます。その他、ワラビ採りや稲刈り体験、また、ジャガイモ、サツマイモ、大根などの収穫体験も行っています。

このように豊かな自然、歴史ある環境の中で、児童たちは貴重な体験をすることができています。

いじめ0をめざして ～長南中学校～

長南中学校では、安全で安心できる、人を大切にする学校づくりのため、人権を大切にすることを柱としてさまざまな活動にとりくむとともに、教育活動全般に班活動を取り入れ、集団づくりにもとりくんでいます。



2月にはピンクシャツデー（カナダで始まったいじめ反対の日）をふまえ、いじめ問題について、生徒会を中心に全校集会の場で班による話し合い活動を行いました。各班で話し合った結果などを交流し、生徒たちが書いた「私の行動宣言」を学級ごとに大きなピンクシャツに貼って掲示しました。



また、人権問題研究部では活動の一環として「アンネのバラ」を広める活動（反戦平和やSDGsの位置づけ）にとりくみ、校内で挿し木によって株を増やし、校区内の施設などに植樹を行ってきました。

その後、市役所にも校内で育ててきたバラの株を植樹し、植樹式を行いました。

